

令和3年度 第1回  
糸魚川市都市計画審議会 議案

と き / 令和3年11月17日（水） 午後1時30分～

と ころ / 糸魚川市役所 203・204 会議室

糸魚川市産業部都市政策課

# 目 次

## 報告事項

都市再生整備計画事後評価（糸魚川駅北地区）について

…………… 1 ～ 6

## 都市再生整備計画 事後評価（糸魚川駅北地区）について

市の策定した計画に対して、委員の皆さんから次のとおり事後評価をお願いいたします。

### 1 都市再生整備計画とは

地域の特性を活かしたまちづくりを効果的に実施し、地域住民の生活の質向上と地域の活性化を図るため市町村が作成する計画で、ハード・ソフト事業の両面から市の創意工夫を活かしたまちづくりを計画することで、計画区域の再生を効率的に推進し、計画事業に対しては交付金による財政支援を受けることができます。

### 2 都市再生整備計画事業の事後評価

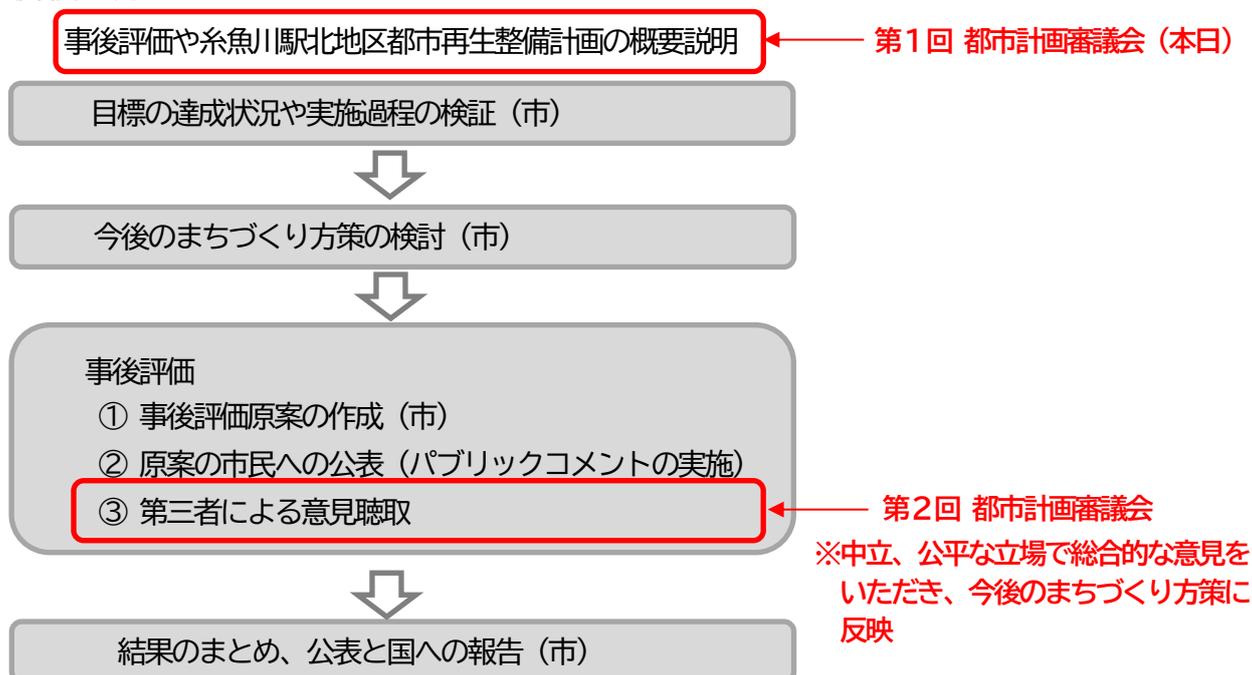
事後評価は、整備計画によって得られた成果やその実施過程などを、客観的に評価分析し、市民の皆さんにわかりやすく説明することを目的としています。

### 3 糸魚川駅北地区 都市再生整備計画の概要

駅北地区都市再生整備計画は、平成 28 年に発生した駅北大火における「復興まちづくり計画」に基づき、復興計画における方針である「にぎわいのあるまち」「住み続けられるまち」に関連する施策事業を中心に記載しています。

- ・計画期間 : 平成 29 年度～令和 3 年度
- ・事業費 : 584.9 百万円 (国費率 40～50%)
- ・主な内容 : 地域生活基盤施設 (情報板)  
地域交流センター (駅北広場キターレ)  
観光交流センター (トワイライトイクスプレ車両の再現・SL くらひめ号設置)  
まちづくり活動推進事業 (にぎわい創出人材育成事業)

### 4 事後評価の流れ

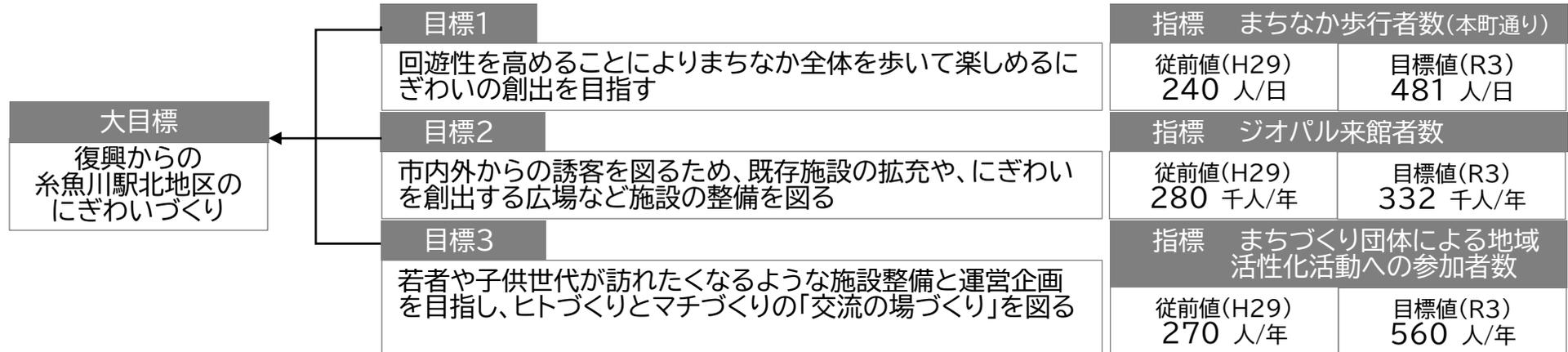


# 糸魚川駅北地区 都市再生整備計画の概要

資料No.2

## 1 計画目標

本計画では、「復興からの糸魚川駅北地区のにぎわいづくり」を大目標として、3つの目標と指標を設定しています。



## 2 事業一覧

主に、次の6つの事業を実施しています。

事業名	事業写真	事業内容
1 案内看板の設置 (事業費 33.5 百万円)  <b>【地域生活基盤施設(情報版)】</b>		来街者が目的地にわかりやすくとどり着き、気軽にまち歩きができるよう、新たに整備した道路や遊歩道を利用し探索できる案内看板を42か所設置。
2 駅北広場キターレ (事業費 382.2 百万円)  <b>【高次都市施設(地域交流センター)】</b>		様々な利用や活動を通じて市民が集い気軽に憩う場として、また駅北大火の記憶を伝承する場として、令和2年4月に供用を開始。 市民によるまちづくり活動を支援することで、市民交流が促されること等を基本方針として運営(指定管理者制度)。

事業名	事業写真	事業内容
<p>3 トワイライトエクスプレス車両の再現及びSLくろひめ号の設置 (事業費 84.2 百万円) 【高次都市施設(観光交流センター)】</p>		<p>糸魚川ジオステーションジオパルは、鉄道ジオラマなど鉄道ファンが多く集まる場所であり、更なる魅力向上により集客力を高めるため、かつて大阪札幌間を運行していたトワイライトエクスプレスの備品を利用した再現車両と市内の工場で活躍したSLくろひめ号を展示。 トワイライトエクスプレスでは食事ができる等、活用を図っている。</p>
<p>4 まちなか駐車場 (事業費 52.4 百万円) 【地域生活基盤施設(駐車場)】</p>		<p>利便性向上により駅北エリアへの集客を促すため、駐車場(28台)を整備。</p>
<p>5 花いっぱい推進事業 (事業費 0.6 百万円) 【まちづくり活動推進事業】</p>		<p>市民の皆さんが花植え活動に参加することで、住民同士の交流を図るとともに、まちづくり活動に関わるきっかけとなることを目的に、駅北エリア住民により実施。</p>
<p>6 にぎわい創出人材育成事業 (事業費 30.0 百万円) 【まちづくり活動推進事業】</p>		<p>主体的に活動し、まちづくりを担う人材の発掘と育成を目的に、まちづくりシンポジウムや実際の空き店舗の再生を通じて新たな事業を検討するリノベーションスクールを開催。令和元年7月から、駅北地区の新たなまちづくりに向けて「駅北まちづくり会議」を設置し、駅北まちづくり戦略を策定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度：シンポジウム3回4会場(延べ240人) / リノベーションスクール 駅北まちづくり市民会議(7回)</li> <li>・令和元年度：シンポジウム2回(延べ80人) / リノベーションスクール 駅北まちづくり会議(延べ17回)</li> <li>・令和2年度：駅北まちづくり会議(延べ12回)、戦略策定</li> </ul>

# 事業位置図



様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	糸魚川市		地区名	青海地区			面積	237ha	
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	141.5百万円	国費率	40%			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路((市)三峯線、(市)青海通線、(市)ぬな川大坪線、(市)田海仲島1号線ほか、(市)南寺町1号線)、地域生活基盤施設(竹のからかい広場)								
			提案事業	地域創造支援事業(竹のからかい広場(オブジェ))、事業活用調査(事後評価)、まちづくり活動推進事業(まちづくり活動支援事業)								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	道路((市)南寺町1号線)	事業の緊急性を検討した結果、削除する方針となったため、事業削除		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			提案事業	-	-	対象事業から1路線を削除したことにより、指標「安全に通行できる人数の増加率」の目標値を修正						
	新たに追加した事業		基幹事業	-	-	-						
			提案事業	-	-	-						
交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	変更なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	安全に通行できる人数の増加率	%	0	H24	36.2	H29	-	38.6	○	あり なし	生活道路の改良整備により、安全で歩きやすい歩行空間が創出され、歩行者の安全な通行が確保された。 平成30年4月
	指標2	避難所となる公園の未整備率	%	4.1	H24	2.0	H27	-	2.0	○	あり なし	竹のからかい広場の整備により、避難所機能を有する公園が確保され、半径300m以内での避難可能な公園の未整備率の改善につながった。 -
指標3	地域環境美化活動参加者数	人	2,700	H24	3,000	H29	-	3,300	○	あり なし	地域の環境美化活動に取り組む住民への支援により、住民のまちづくりに対する意識が高まり、環境美化活動に積極的に参加する住民が増加した。 平成30年4月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1											
その他の数値指標2												
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活道路である(市)三峯線等の側溝整備を行ったことで、児童・生徒の通学路における交通安全が確保された。</li> <li>竹のからかい広場は、防災拠点並びに地域住民の憩いの場であるほか、国の重要無形民俗文化財である「竹のからかい」のアピールの場でもあり、青海駅前から続く竹のからかいシンボルロードと一体となって地域の魅力を伝えている。</li> </ul>											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	まちづくり活動支援事業の実施過程において、住民参加のもとで、花植え活動や草刈り活動を実施。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 活動の広がりを応援するとともに、住民参画による協働のまちづくりを推進していく。				
持続的なまちづくり体制の構築	なし(既存自治会の組織基盤や活動体制がある程度整っているため、既存組織で対応)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も既存組織で対応していくとともに、自治会の活動を積極的に支援し、地域コミュニティの活性化と持続可能なまちづくりを推進していく。					

都市再生整備計画（青海地区） 評価結果のまとめ

青海地区（新潟県糸魚川市） 都市再生整備計画事業の成果概要

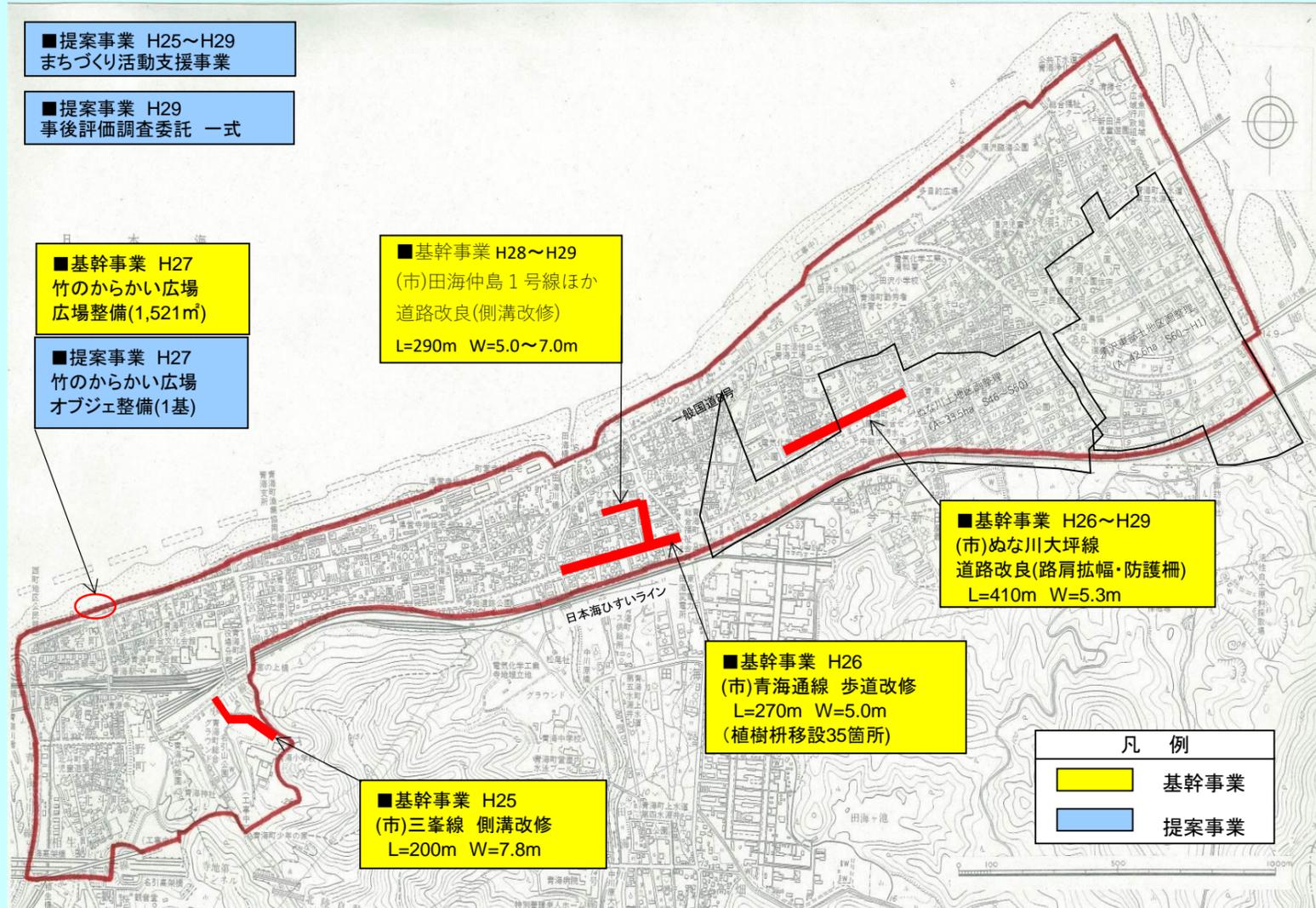
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	子どもからお年寄りまで安心して暮らせる、安全なまちづくり 小目標1:安全に通学ができる生活の道づくり 小目標2:安心して生活するための防災機能の充実	安全に通行できる人数の増加率	単位: %	0	H24	36.2	H29	38.6
避難所となる公園の未整備率		単位: %	4.1	H24	2.0	H27	2.0	H27
地域環境美化活動参加者数		単位: 人	2,700	H24	3,000	H29	3,300	H29



竹のからかい広場  
(基幹事業 地域生活基盤施設)



(市)三峯線 側溝改修  
(基幹事業 道路)



(市)青海通線 歩道改修  
(基幹事業 道路)



(市)ぬな川大坪線 道路改良  
(基幹事業 道路)



(市)田海仲島1号線ほか 道路改良  
(基幹事業 道路)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の側溝改修や路肩拡幅整備、歩道改修等により生活道路や通学路の安全な歩行環境が創出され、地区住民や通学児童・生徒の道路通行の安全性が確保された。</li> <li>・竹のからかい広場の整備により地域の避難場所が確保されるとともに、半径300m以内での避難可能な公園の空白地が縮減され、避難所となる公園の未整備率の改善につながったが、今後は津波の被害も想定し、避難所となる空白地の整備を進めていく必要がある。</li> <li>・環境美化活動に取り組む住民等への支援によりまちづくりに対する住民意識が高まり、活動参加者数が増加し、地域コミュニティの活性化に寄与している。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備した道路の維持管理に努めるとともに、地区内の他の路線についても、地区住民や通学児童・生徒の通行の安心安全を図る。</li> <li>・竹のからかい広場での防災訓練の実施や防災イベントの開催など、防災面からの広場の有効活用を推進することにより、地域住民の防災意識を高め、地域防災力の向上を目指す。</li> <li>・都市再生整備計画事業終了後も住民主体のまちづくり活動を継続的に続けるため、高齢化や資金の面も見据えた仕組みづくりを検討し、住民のまちづくり活動への参加意識を高めていく。</li> <li>・津波対策も含め、残りの避難所となる空白地にも、避難所の役割としての機能を持つ公園・広場の整備や、避難ルートとなる道路機能の強化を検討する。</li> </ul>